

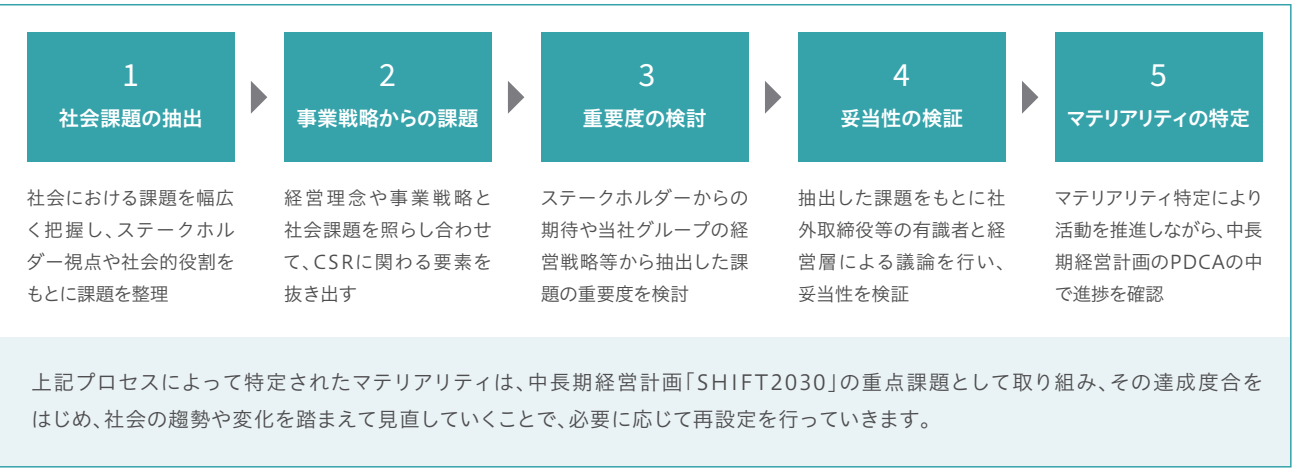
社会課題解決に貢献する事業推進

社会とNITTAグループがともに発展できるビジネスの創出

ニッタグループは創業者である新田長次郎が明治時代に残した「優秀な製品を製造することによって事業は栄えるが、そのお金は社会に貢献できるよう公共のために使わなければならない」という言葉を受け継ぎ、社会へ貢献することは現在のSDGsのゴール実現

へ向けた使命と考えています。
また、社会趨勢、国際社会の動向、ステークホルダーの期待等から社会課題を把握し、社会とニッタグループの双方が持続的に発展できるような、新しいビジネスを創出していききたいと考えています。

ESG経営にともなうマテリアリティの特定プロセス



	関連するSDGs	マテリアリティ項目	関連するステークホルダー	掲載ページ
E 環境	7 クリーンエネルギー をエネルギーに 12 つくる責任 つかう責任 15 陸の豊かさを 保つ	温室効果ガス削減による低炭素社会の実現	従業員/地域社会/行政・自治体	▶p54
		環境負荷の低減と循環型社会の実現	お客様/お取引先/ 従業員/地域社会/行政・自治体	▶p53
		地球温暖化対策・生物多様性保全に貢献する山林経営	従業員/地域社会/行政・自治体	▶p58
S 社会	8 働きがい も経済成長も 12 つくる責任 つかう責任	バリューチェーン全体を通じての社会的責任の発揮	お客様/お取引先/従業員	▶p61～62
		働きがいのある魅力的な職場環境の実現	従業員	▶p65～66
		顧客満足の追求	お客様/お取引先/従業員	▶p67
G ガバナンス	8 働きがい も経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任	コンプライアンス推進とリスクマネジメント強化	お取引先/株主・投資家/従業員	▶p75～76

ステークホルダーとの関わり

▼主な責任

お客様	お客様の困りごとに真摯に向き合い、技術革新や製品開発に努め、課題解決となる製品・サービスを形にしていきます。地球環境にやさしく、また社会に貢献できる製品や、時代の変化に先回りした製品の提供に努めます。
お取引先	取引先は、企業理念の実現に向けてともに未来を目指すパートナーとして位置づけています。ニッタグループの「CSR調達方針」にもとづき、公正かつ透明な取引を基本とし、相互理解を深め、良好な信頼関係の構築・維持に努めます。
株主・投資家	当社グループの長期安定的な成長を図り、企業価値の向上を目指します。株主・投資家の価値向上に向け、安定的・継続的に利益を生み出し、株主還元ができる事業構造の変革と強化に努めます。
従業員	ニッタグループの全ての社員が安心して働くことができる安定した経営環境を維持します。社員の人権を尊重することで自律的な成長と多様な働き方を支援し、社員一人ひとりが持つ可能性を引き出すことができる職場環境づくりに努めます。
地域社会	各国・各地域での事業活動において、法令や国際規範を遵守し、環境保全や人権尊重に十分配慮します。また清掃活動や育林プロジェクト等地域社会・文化の発展に寄与する活動に参画し、より良いコミュニティづくりに貢献します。
行政・自治体	法令遵守や納税等の義務を果たすとともに、日本および国際社会の持続的発展に向けた協働や支援を行います。和歌山県「温山荘園」の運営サポートをはじめ、各都市の観光資源等の支援活動を通じて、地域社会の発展に貢献します。

▼主な対話方法

各工場の拠点地域ではそれぞれの行政機関の依頼に迅速に対応する等、日々円滑なコミュニケーションを図っています。また地域社会からの要請に応じた寄付等の支援を行っています。

津波避難ビルに指定されている本社ビルを地域の皆様に認知いただく他、近隣保育園の避難訓練場所として提供。また「クリーンアップ活動」等の周辺清掃活動を本支店、各工場で継続実施しています。

フィードバック面談や上司が部下の意見を取り上げ、やり甲斐のある職場環境づくりや多様な働き方を支援。また第三者機関による専用の相談窓口で従業員の課題解決に対応しています。

